

新  
京  
日  
日  
新  
聞

刊夕  
日一十二月四

印刷製 刷行 人々	發行所 電話 東京市 新橋 區 新 橋 一 丁 路 一 五 五 番 地	料廣定本 金吉原紙 時常預 部五 役松	行行々々 月月 月月 拾拾 五五 拾拾
-----------------	---	---------------------------------	------------------------------------

水長十  
鋪河内  
之衆  
介壽忠

時計 時計 時計

黄河上流偏關を急襲

何柱國軍を撃破

# 山西北部殘敵に止め

又同廿日發國通。○部隊松吉部隊は十九日黃河上流左岸の餓饉に急襲し何江津軍の敵約五百を擊滅、廿日午後五時十分これを占領した。我軍廿一日發國通。蔣所介の三月四日致電の合意書にあつたらぬ山西西北部の軍の抵抗をきみんとする弊態を改めたる何江津、馬占山は發國通。我軍の反響を發國通。所介の目的を遂げてくれ、我軍はこれを行けるを追つて軍配の揺れを待たし、我軍の弊態を改めたる、即ち○部隊の松吉部隊は山西省西北部をより西進し、老營堡、楊家峯、馬佔恆の會合に所在の敵軍擊破しつゝ十九日餓饉に據る何江津軍の敵を潰滅、午後五時十分これを占領した。敵の遺棄糧食八十五、捕虜一、虜獲馬十頭、我軍の損失なし。又二十一日發國通。餓饉占領。昨午の第一次攻めより、二度目に出陣であるが、山西西北五里方面から、陝西方面走した兵團の掠奪戦は我軍に絶し、彼等の通過村落には一物も残さず、松吉部隊占領後の餓饉に残つたは敵遺棄糧食のみで全く物も人影もなげ無人に迫る。のがあつた。

白狼口  
平魯  
南方  
を占領

大岡廿一日發國津米川部  
敵は十九日拂國津米川部  
の白狼口に於て何十團軍約  
八百と遭遇、激戦の後大打撃  
を與へて午後六時、これを占領  
した。敵の遺棄死傷六〇を  
また西田部隊は同日、厚和東方  
廿五の〇の陣に於て共黨團  
廿五を掃蕩、敵は死傷廿を遺  
棄散走した

浮山東南で敵大  
部隊を殲滅

（豊岡廿日發國津） 殘敵掃蕩  
の井上部隊は廿日朝生家組  
後、時東南部地區の兼光河、上  
増城北方地區

（豊岡廿日發國津） 兼光河で  
敵部隊と交戦（八ヶヶ）附近で  
に潰滅せしめた。敵遺棄  
死傷、百五十、山糧品多數

堰掌鎮東南方の  
敵陣を奪取

（豊岡廿日發國津） 堰掌鎮で  
新が敵七師、十師を反擊  
の我木越、山農、岩田、野  
強が敵部隊は流石な協力のも  
と廿廿日正午猛烈な攻撃戦に  
移り陣地に巨彈を放つて狼狽  
する敵軍に一齊射撃、赤き午

臨陽北方春動の  
敵を撃退

（豊岡廿日發國津） 十九日拂  
國津北六ヶヶ、北馬に大  
麗山より下りた百七十五師に  
對する約五百の敵が現れた  
が、同科警備隊は迅早く出動  
して追ひ、敵死傷七、  
山糧品、小銃彈五十、手榴彈  
五十三

各地の戦果

三ヶヶ、山糧品、山糧二  
浦射入、山糧品、山糧二  
浦射入、山糧品、山糧二

# 各地の戦果

[illegible]

ル大統領の要請を  
ム首相、斷乎拒否

**全體主義國を被告席に置くもの**

（前）廿日發演稿）ムツリ  
ニ音相は廿日間突如ムツリ  
統帥のメッセヂに應へ勝手  
その要請を拒否して左の如く  
力説した。

大統領今般の平和政策ヲ  
後告席に坐せざるを得ぬ。宣  
合理と斷ぜざるを得ぬ（宣  
眞はムツリ音相）  
（前）廿日發演稿）ムツリ  
の丘に於て二十日開カビ  
フルの五に於て一九四二年  
で開演される世界博覽會  
に關する演説を行つたが、右  
演説中略載し轉じて米大統領  
答の平和と愛護メッセヂに因  
答たるものに其れを述べる。  
左の如し。  
ムツリニ氏演説要旨  
現下世界には動亂が蔓延して  
あるから、われ等は個人も  
國家も、時に此種人物（  
世界博覽會を指す）を波ら  
んと爲われ等の建設を妨か  
るとし始めるであらうか  
るが故にわれ等を排除的  
の、獨伊兩派の意見か  
んじするものは流れる意見  
を持つものと言はれるを得  
ない。然るべきは地理的全  
然邊境、政治的全然邊境全  
大變遷には一言も及ぶこと  
がない。只十年に亘る保衛的  
的且つ周旋的な關係を  
導つことにこれをいふ。われ  
は出来ない。我々を統領今回  
のメッセヂに於て全體主義國  
家を被告席に坐せざるを得  
ない。我々の國は全  
く不合理と斷ぜざるを得ぬ  
亦外國の大衆なる防衛者とな  
る協議をせよといふ言ふが  
われ等々は從來の経験から多  
くの氣を食ひ會議を開くと  
成功し成功するとでないも  
の、これは已に明瞭である  
大總統の連座に得るものと  
か、余は之を公明な利用方  
法の實行によりてを明しし  
ことを確證せねばならぬ。  
われは善なり其真心を  
われ等自身の手で  
全世界の平和と幸福を以て  
武器及び手段を有するが故

滿洲國實業家代表を

北中支に派遣

[illegible]

黃浦舊蔣政府不動產

# 維新政府下、接收決定

[illegible]

# 對滿投資に協力言明

滿洲國代表、大藏省と協議

【東京電】大藏省は廿四日午後二時より本省に日滿商會を通過する主権力機関に關する協議を開き、大野次官以下日本銀行長並に關係係長、田澤副團長より星野財政部長官、藤本金融局長等出席。星野社長及び日滿生産會議代表計二十餘名の出席あり。

【東京電】一〇〇％の開拓部八八・〇％、交通通信九〇・〇％、資金關係一〇・〇餘%の生産業充實の籌策に、更に相當巨額の資源埋蔵を確證する旨の報告があり、次で滿洲國鐵道の敷設と關し、大藏省側より野澤投資は好成績を示した。今後とも充分協力して四野の權力を擴張せしむる所である。

ルーマニア政府  
反ソ態度を闡明

[illegible]

力一英大使

「香港廿一日發國通」重慶來電によれば重慶滞在中の力に支英大使は廿日午前十時外交部長王寵惠を訪問會談した

九里正藏氏 二十日東京  
村田満江氏 同  
十島源平氏（社員）同  
金子銀平氏 同  
小原治直氏 松山鎌山  
小嶋清太郎氏 同  
関本清氏（社員）同  
空堀水吉氏 水事接正 同  
功茂藤兵衛氏 永通寺長 同  
力達義典氏 前大連市長 同  
河津一雄氏（南洲總領所）同  
木崎清次氏（大通函功職）同  
二乗勇進氏（大通重機物輸送部）同  
西川不二氏（貿易商）同  
武井清氏（國立大學技師）同  
赤木良氏（同）中央  
森本友成氏（同）同  
若元禎二氏（社員）同  
非能健氏（無職社員）同  
柏木芳光氏（商業毛織常務）同  
中郷一庵氏（商業）同  
山田忠三氏（商業）同  
山田孝氏（輪船員）同  
谷良行氏（同）同  
山口公六郎氏（生活必需品配給課）同  
倉家太八郎氏（工役夜勤）同  
石人重吉氏（十二日夜勤）同  
協理理事 廿一日午後  
三浦滿理事 同  
八時大正氏 建築技師 同  
都子氏 同  
河口登氏（官費）同

**出 發**

宮田源氏 二十日大浦へ  
大浦源氏 同  
北澤利英氏（兼夫）同  
佐々木一庵氏 同  
李順治氏（市令）同  
張民忠氏（大浦）同  
徐錦忠氏（太夫）同  
劉千里氏 同  
申昭吉氏 同  
刀志茂氏 同  
保田保市氏（本橋浦）同  
村上太郎氏（丹江）同  
栗秀剛氏（丹江）同  
北澤彰氏（兼一）同  
北澤善吉氏（市令）同  
山口政五郎氏（兼夫）同  
木下重多氏 同

その日く

武特別市教育司も出来た。朝鮮の真骨と悪新支那の差別を責む。

修なる修子川の流れるはなす、歴史の頁はし作られてゆく。

攻勢を呼號したこの月で、あなたが、つひに降参に終だてはないか。

ルーズヴェルト 君は歐洲の大統領では批判より

△「リッ」首相「これを評ス」  
△「リッ」首相「これを評ス」  
△「リッ」首相「これを評ス」

興亞の薰風に乗つて尙武の節句近づく

五月心形陳列會

会場……五階ギャラリー

甲冑姿も勇ましい武者人形、金時、桃太郎、陣太鼓を  
はじめ、趣向新しき時局人形、鯉幟等々  
**井中三** お節句の御用品一切とりそろへ勇ましく陳列







於  
**滿鐵社員俱樂部**



「知らぬ、山下の居所を知らぬがある……」

「貴公方同様にして、生死を知らず堂……その同志の居所を知らねむるは、それと云ふべきであらうか。」

御彌三郎の無答は、するとおかつあるのか。

「まさしく……山に兵衛を遣ふ事によつては、自然と身軽が、引合せてくる。」

「いや、あの男を我々の同志と言はれては、面目ない……山下に就いては、拙者の不明……」

安福は、意にも、から簡單に言つて了げた。

「今後は、拙者は、あの人柄とは何の関係も無い。そなたには、何か申し上りて置け。」

かう言ふ安福對しては、御彌三郎は、漸なる憤りを覺えて下つた。

山下茂兵衛を見つことか、現在の、御彌三郎にとつては、生きてゐることの關係で、から富つて、御彌三郎を聞つけた。

「貴も、すし……どういふ」とある男を、一面どきなところ天下の物となさうだ……少しは、時勢と云ふものを知らんか。」

西川が、かうひきかけて、前かとしたやうに、御彌三郎が一步身をいた。

「貴様か、ややつ……」

御彌三郎の、すでに、宿の心をも感心したのである。

然し、西川が、かう叫んだ瞬間に、彼はすつ飛び退た瞬間に、彼はすつつかつた雲に足をはられて、つた一瞬間に、斷崖から吹雪舞ひ狂ふ激流の中に落ち行つた。

御彌三郎は、この時、へたな顔を目がけ、刀を抜けてゐた。

「安福、無言で構する。」

安福が、同じやうに抜き置けること、安福が、無動作に、「原田……拙者を、任せて置く。」

彼は、西川を、殺し、秋雪の中に倒れ、安福は、吉原城から二度目、刀を交へ、相闘した。

四月限  
三三

1




坂井忠商會株式會社

料材用道水・房煖  
ブンボ・罐汽・機汽  
具工及械機作工

肉弾相搏  
都對  
對抗拳闘大試合

# ！戦血！つ



楠本 芳保 (不) 同 宮橋 丈夫 (關西)

結城 敏夫 (不) 同 林 寅夫 (京協)

鈴木 未次 (不) 同 吉川 英二 (關西)

柳橋 利光 (不) 同 中川 星太郎 (京協)

長谷川 義弘 (不) 同 高橋 金吾 (東洋)

田中 幸男 (不) 同 大橋 利雄 (關西)

其 他 數 組

援 後 備 主

板 新 新

木 京 京

縣 日 日

人 新 新

會 聞 會

所 時

場 日

入 四

船 月

町 廿

埋 二

立 日

地

會 員 前 賣 券

一東京大相撲場跡

金泰百貨店・三中井百貨店・スワロ

！商會・泰新號・渡邊運動具店・栗瓶

滿鐵社員俱樂部・ニツケキヤラリ

ミス大阪・日本橋茶房・各理髪店

民刑事訴訟顧問及鑑定貸家貸地管理  
滿洲國特許商標登錄 諸書類作成

辯護士 黑田實法律事務所  
新東京朝日通三十三番地  
日本橋通より西三丁目  
電話③五四四九番

---

滿洲國新鑛法に依る申出・出願手續一切  
類案二條通四一

種目 書類作成・圖面調製  
鑛床說明書・申計  
畫書・登錄手續・鑛  
物鑑定・鑛山調査

其の他鑛山經營及賣買の相談に應じます

大谷鑛業社  
電話③五六九九番  
諸君業務協會社指定正記

お待たせ致しました！  
堂々本封切

王政復古

果然初日晝間満員

皇道精神發揚映畫！堂々廿八日巻  
被格開映迄七〇銭  
平日十時作開映

九〇銭均一

員動總西東他の其郎寛寛・藤惠千・妻阪に中の激感と奮昂  
【中集に篇一のこ氣人の下天滿】業覇大の新維治明く描で  
ずら殘入一てにれ連族家御  
とて終はし其いさ下映切

アツキ百新



所期の目的に到達

星野長官數度の折衝成る

[illegible]

# 防共の義務遂行へ

伊洪會議、五項圓滿諒解

國際的義務を遂行するに必要に迫るの決定を要するに必要に迫られたついても、初期の方針としては船隻と、車輿等の如き國を基準として、實地等の如き内地より供給する必要とする資材も必要とする。歐洲國の要求する數目よりも更に移入し得ない事情にはあるが、日本國の物物貿易の具體的計數が、船隻の運送を通じて發達においては歐洲國の開港になるまでの間の相當の比重には何等の支障を來さず、今後共日滿經濟一體の見地

訪問中、ハンガリー・ローレー首相、チャーキエリ首相一行は二十日午後、ローレー國からは二十日、十九兩日互つたイオマー、ハンガリー公使館の内容を、關しハンガリー兩國首腦は左の五項目に關し圓滑な瞭解に達したと傳へ、イオマー、ハンガリー兩國間の政治、經濟、文化の提携に關する諸問題

一、全歐に協同歩調を統一し、英米聯盟、ハンガリー兩國は英米聯盟と對等の義務を遂行に遂行する  
 一、イオマー、ハンガリー兩國間、懸案に對する解決策、兩國間の懸案解決策、  
 一、兩國の英佛接近が宣傳される折、大使突然の歸國はベルリン外務省の注目を集めてゐる

白聯立内閣組織  
 三月十九日發國通

前首相ビエル氏は十八日、選挙の結果に對し第一黨カワツ、第二自由黨の聯盟新内閣を組織した、その廳は次の通り  
 首相兼外相ビエル、威威、国防相、外務相、陸軍、法相、ヤンツ、海軍、交通相、マルタ、コワツ、

廿日に至り判明した、メカロ氏歸國の理由につきツジツ大英使館當局は口を塞ぎし餘ならぬが、ツジエ政府の英佛接近が宣傳される折、大使突然の歸國はベルリン外務省の注目を集めてゐる

白聯立内閣組織  
 三月十九日發國通

前首相ビエル氏は十八日、選挙の結果に對し第一黨カワツ、第二自由黨の聯盟新内閣を組織した、その廳は次の通り  
 首相兼外相ビエル、威威、国防相、外務相、陸軍、法相、ヤンツ、海軍、交通相、マルタ、コワツ、

我がドイツの爲

獨立脅威ありや

ト總統、各小國へ質問

「(「ブルジョア」二十日登壇)」  
 トラノは来る廿八日の國  
 會議決において、ルーズヴェ  
 特大統領の平和親望メマセ  
 チに對し斷乎ドイ政府のメ  
 信を表明することとなつた  
 これに先立ちヒトラー總統  
 二十日大統領のメマセメ  
 列せられた小國親望のドイ  
 外使臣に訓令發給し各駐  
 外使臣に對して次の項目か

滿鐵豫算膨脹

早くも五千萬圓追加

風陵渡(西山)附近偵察



# 集團的反獨形成

「ワシントン」廿日發國通「ソ聯」やうに提唱してゐると傳へられる。ソ聯政府は反英同盟問題に關する政府の提案に對しやうやうに回答する。獨逸の對策を提示して來たが、ソ聯政府の提案は英獨逸がソ聯政府の一方の獨立提議を提唱してゐるのに對し、系統的且安全の確立の點から無條件に反對の點の點から「ソ聯」の形成を要求したものである。中核として英獨逸三國の對策は無條件に互に援助協定の締結交渉の間に當る到底英政府の同意を得ること

「ソ聯」の對英提案も不評

やうに提唱してゐると傳へられる。ソ聯政府は右の趣旨を徹底して英獨逸に援助政府めについても「ソ聯」政府の對英對獨の政策を推想してゐるが如き現在の態度を清算するやうに要求してゐるが、政府は迅速は廿日ソ聯政府の提案は英獨逸の提案に對して露骨に「ソ聯」包圍を企てたものでないことを得ること

は露骨な反英プロパガンダであることを露著することには疑ふ餘地もない。英政府の主張するこの點が英獨逸の主張との間に無條件に互に援助協定の締結に連關してゐるが、ソ聯政府の提案は獨逸の提案に對し、系統的且安全の確立の點から無條件に反對の點の點から「ソ聯」の形成を要求したものである。中核として英獨逸三國の對策は無條件に互に援助協定の締結交渉の間に當る到底英政府の同意を得ること

黎明を告ぐ第一聲

和平救國聯合會成立

陸鷺垣曲を猛爆

【○廿一日發國通】山西南端における四月攻勢の敗走を回復せんとして再び増援兵を後方に往來しつつある敵は、最近に壬辰平<sup>（註）</sup>と云ふ最も前方の點に敵をくわて、近回中<sup>（註）</sup>南<sup>（註）</sup>、西谷關の道路上に敵ト完全にこれを潰滅<sup>（註）</sup>、この間一

# デマの本家空爆

西安の宣傳機關吹飛ぶ

敗戦に喘ぐ蔣  
少年を前線へ

強制的に狩る

のため江西福建、

十三 四 五才まで  
を鐵鎖をもつて強制  
した民衆は、一寸も  
叫しつゝ軍艦と密

大蔵省関係興亞

院連絡部轉出者

務官、技師等のうち華北

銀行検査官（銀行局）

北連路部書記官(爲替扇)  
大蔵事務官(爲替扇)

10

福運之鍵

一等當籤	五千圓
二等當籤	三千圓
三等當籤	一千圓

命生洲滿

[illegible]

富  
家  
强  
國











...

ぬうちに焦けてしまふ

巴腺が腫れました。始めだけ  
かゝりが悪化したら

すなわち貴女の場合はレントゲ

10

10















